

議題（ 2 ）

第4次大阪市食育推進計画の取組状況について

①令和6年度基本テーマの取組

第4次大阪市食育推進計画 8つの基本テーマ

かしこく食べよう！
ゲンキをつくらう！



バランスよく食べよう

毎食「主食・主菜・副菜」をそろえ、毎日果物や牛乳・乳製品を食べる等、栄養バランスのとれた食事を実践しましょう。



朝ごはんを食べよう

適切な栄養摂取・食事リズムは基本的な生活習慣を身につけることから重要です。毎日朝食を食べる習慣を身につけましょう。



野菜を食べよう

健康づくりと生活習慣病の予防のために、野菜を1日350g以上食べましょう。

令和6年度共有テーマ



減塩しよう

食塩の摂りすぎは循環器疾患やがんとの関連が大きいといわれています。生活習慣病予防のために、減塩の習慣を身につけましょう。



一緒に食べよう

共食(きょうしょく)は、望ましい食習慣の確立、適切な量と質の食事の摂取につながるとともに、食卓で交わされるコミュニケーションは人間形成の基礎となり、豊かな心を育みます。家族や仲間と一緒に食卓を囲みましょう。



よく噛んで食べよう

食べ物を噛むためには、十分な口腔機能の発達、維持が不可欠です。よく噛むことは、食べ物を味わって食べることに加え、全身を活性化させるという重要な役割を持ちます。よく噛んで、味わって食べましょう。



よく見て食べよう

適切な栄養摂取と健康維持に向け、食品と食品に表示されている栄養成分表示等をよく見て選んで食べましょう。



大切に食べよう

食物からいただく命を大切に、感謝していただきます。これまで育まれてきた食文化を次の世代へと継承していきましょう。

共有基本テーマ「減塩しよう」

【全てのライフステージへの啓発】

減塩のレシピ等を掲載した「たべやんの減塩新聞」を食育講座、食育イベント等で配付した。また、減塩のレシピをクックパッド公式キッチン「大阪市たべやんレシピ」に掲載した。



減塩をはじめ、基本テーマの啓発用のクリアファイルを作成し、食育講座、食育イベント等で配付した。



【特定給食施設を通じた食育の推進】

事業所等の巡回指導時に減塩啓発ポスターを配付した。

【特定給食施設 421施設】
(令和7年1月末現在)



【短大生に対する食育講座】

若い世代は、健康や食生活に対する意識が低い上に、外食・中食が多いといった現状があることから、大阪夕陽丘学園短期大学に在学する学生に対し、食育講座を実施し、減塩の啓発を行った。

【2回 57人】

共有基本テーマ「減塩しよう」

【地域子育て支援センター・保育所】

○地域子育て支援センターでは、乳幼児を家庭保育している保護者を対象とした、離乳食や手作りおやつ等の食に関する講座を定期的で開催している。各講座を計画する際には、大阪市食育推進計画共有テーマ「減塩しよう」を組み入れ、1年を通して啓発している。

- ・こども青少年局発行の食育リーフレットや食の情報誌「ぱくぱく」を活用し、共有テーマ『減塩しよう』を啓発する。
- ・食に関連する講座で、だしの種類やその特徴、基本のだしの取り方を紹介し、だしの「うま味」や「香り」を活用した離乳食等の調理方法を伝える。
- ・1年間を通して、季節に応じた旬の食材を紹介し、素材を生かすことで、うす味でもおいしく調理できることを伝える。

令和6年度 共有テーマ「減塩しよう」の取組
【486回 1,968人】(11月末現在)

○保育所部門監理主任を通して、今年度の共有基本テーマは「減塩しよう」であることを各職場に情報提供し、入所児童の保護者に配付する「食事だより」に「減塩しよう」に関連した内容を選び掲載して啓発するように伝えた。

他にも、食育活動のひとつとして、調理員が児童の喫食状況を調査する際に、ひとり一人に合った言葉を選び、減塩について理解するのがまだ難しい児童にもわかりやすいような声かけをした。

また、保育所入所児童の保護者や地域子育て支援センター利用者に向けた食の情報誌「ぱくぱく」も、「減塩しよう」をテーマに年4回作成し、掲示や配付した。

<取組み報告>

- ・食事だよりにて「減塩しよう」について啓発した。50回 4,372人
- ・児童の給食喫食状況調査にて「減塩しよう」に関連する声かけをした。
7回 276人
- ・食の情報誌「ぱくぱく」を作成し発行、各保育所にて掲示した。
年4回発行 53カ所の保育所にて掲示

【保育所】

教育・保育施設等(認可保育所・認定こども園・地域型保育事業所)に向けて食育の推進を図っており、令和6年度は「減塩しよう」をテーマに取り組んだ。

- リーフレット「とりすぎていませんか？ 塩」の作成・配付
- 保護者に食塩の過剰摂取に留意することの重要性を訴える内容のリーフレットを作成し、「食育月間」に各施設で活用できるように配付した。
【737施設】

【小学校・中学校】

- ・児童生徒に対して、各種食育指導資料を通じて「減塩」に関する啓発を行った。
- ・給食だより、食育だより
- ・食育つうしん
- ・食に関する指導資料(給食時間での指導に活用)

【食に関する指導資料 9月分より】

せいかつしゅうかんびょう よぼう
生活習慣病の予防 

せいかつしゅうかんびょう よぼう
生活習慣病を予防するために、子どものころから
バランスのとれた食生活を送りましょう。

- ・1日3食、黄・赤・緑のグループの
食べ物をそろえて食べましょう。



- ・甘い物や塩からい物、油の多い物の
とり過ぎに気を付けましょう。



「バランスよく食べよう」

【生活支援型食事サービス事業】

在宅高齢者等の自立した生活の確保を図るため、関連サービスの利用調整を行いながら、訪問により栄養バランスのとれた食事を配達することで、対象高齢者等の安否確認を行うことを目的とする事業。

令和2年度より、献立作成にあたり、「日本人の食事摂取基準」及び「地域高齢者の健康支援を推進する配食事業の栄養管理に関するガイドライン」に沿ったものとなるように、参考とするべき基準を示した。栄養バランスのとれた食事を提供できるよう引き続き取り組む。

【ハイリスク高齢者への家庭訪問事業】

フレイルリスクが高いと考えられる閉じこもりがちな高齢者を保健師が訪問し、フレイルリスクのひとつである「低栄養」の可能性のある対象者について、要介護状態への移行をできる限り予防することを目的に、生活面や療養上の保健指導を行い、必要に応じて関係機関と連携し支援を実施。

【ホームページ、認知症アプリ等による情報発信】

大阪市ホームページ、認知症アプリ等を活用した情報発信「備えあればフレイルなし！」と題して啓発用リーフレットを作成・掲載し、フレイル予防の4つの柱のひとつとして「低栄養」予防をテーマに周知・啓発を実施。

「朝ごはんを食べよう」

【大阪市朝食月間】

「大阪市朝食月間 一朝ごはんを食べよう！」

夏休み等で、生活リズムが乱れがちな夏が終わる9月を「大阪市朝食月間」とし、子どもから大人まで全ての世代が、朝食の重要性を再認識し、望ましい食生活と生活リズムを整えるきっかけとなるよう啓発を行った。

期間：令和6年9月1日～9月30日までの1カ月間

- | | |
|---------------------|--------------|
| ① 講座、イベント等による啓発 | 【463回3,043人】 |
| ② リーフレット等の配布による啓発 | 【6,928枚】 |
| ③ 広報誌・インターネット等による啓発 | 【57回】 |

「朝ごはんを食べよう」

【保育所】

「元気もりもり朝ごはん」の取り組み

「こどもの朝食欠食の減少につながる」ことを目的として、公立保育所の4・5歳児等を対象に、朝食に関する紙芝居を実施している。

【191回 3,221人】

また、保護者向けの朝食に関するリーフレットを作成・配付し、啓発を行った。

【4,585枚】

朝食月間に、教育・保育施設等(認可保育所・認定こども園・地域型保育事業所)を対象とした啓発用リーフレット(ポスター)を作成・配付した。

【769施設】

【地域子育て支援センター】

こども青少年局発行の食育リーフレットや食の情報誌「ぱくぱく」を活用し、あそびのひろば内や各区役所と連携し市民が参加する食育イベント等で朝ごはんの大切さや栄養バランスのよい保育所献立を紹介する等の啓発を実施した。

【360回 1,029人】(9月 大阪市朝食月間の取り組み)

「野菜を食べよう」

【やさしいTABE店事業】

市民の健康寿命の延伸と、生活習慣病のリスク低下のため、食生活の改善と野菜摂取量増加を目的とし、野菜をたくさん食べることができる飲食店等を対象とした登録制度を行っている。大阪市HPへの登録店舗リストの掲載とリーフレット作成による事業周知を行った。

【254店舗】(令和7年1月末現在)

【食育イベント】

・やさしいチェックの実施

食育月間である6月を中心に、ベジチェックを用いた簡易野菜摂取量診断(やさしいチェック)と今後の野菜摂取量増加・食生活改善へ行動変容を促すための指導を区役所等と連携して実施した。

【19回 2,947人】(令和7年1月末現在)

・政策企画室のイベントと連携し、野菜摂取量増加・食生活改善へ行動変容を促すための啓発を実施した。

【1回 95人】



「野菜を食べよう」

【農産物PR】

農業イベント、本市HP、プロモーション動画にて市内の農産物のPRを行い、市民に野菜を中心とした食べ物について学んでいただいた。

参考:本市HP「大阪市農業サポーターについて」

<https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000484402.html>

参考:本市HP「令和6年度 市内産農水産物のプロモーション動画について」

<https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000632783.html>

【保育所】

保育所

0歳児～5歳児、それぞれの年齢に合わせて食育を実施した。

例えば、

- ・きゅうりや人参等を触ったり、匂いをかいだ。
- ・ピーマンの種取りをしてもらう。調理室でピーマンを半分に切って持っていき、ピーマンの匂いをかいだりし種取りをした。
- ・とうもろこしの皮をむいてもらう。一人に一本渡し、外側の皮から一枚ずつむいていくとむきやすいことや、ひげの数ととうもろこしの粒の数が同じであること等の説明をし皮をむいてもらった。
- ・人参や大根の型抜きをした。少しゆがいて柔らかくしておく子どもたちが型抜きしやすい。

ピーマン、人参は昼食に、とうもろこしはおやつに調理し提供した。喫食状況を見に行った際に子どもたちが自分たちで給食のお手伝いをした野菜が調理されていることに喜んでいる様子や美味しいと嬉しそうな声を聞いたりし、苦手な野菜でもよく食べていたりする姿が見られた。このような食育の取組により、子どもたちの食べることへの興味に繋げていった。

・「野菜を食べよう」をテーマに食育を実施した。

564回

10,830人

「一緒に食べよう」

【保育所】

0歳児～5歳児、それぞれの年齢に合わせて食育を実施した。

- ・給食を弁当箱に詰める。お弁当屋さんごっこ称し、調理従事者がお弁当屋さんになり、児童が制作したコインと引き換えにお弁当をもらい、みんなで一緒に食べた。
- ・人参などの野菜を型抜きし給食の上にトッピングして提供した。全員を対象にしたり、お誕生月の児童を対象にしたりと児童に喜んでもらえるように考えて実施した。

器の形状を変えるだけで、苦手な献立や食の細い児童も完食できたり、「お花の人参が入って最後に食べた」等の声が聞かれ、児童が毎日の給食をみんなで喜び一緒に食べることの楽しさに繋げていった。

- ・「一緒に食べよう」をテーマに食育を実施した。

125回 5,031人

「よく噛んで食べよう」

【地域リハビリテーション活動支援事業】

住民主体で開催する口腔機能向上のためのかみかみ百歳体操を実施している通いの場に対し、歯科衛生士等を派遣し、効果的かつ安全な体操方法の助言や口腔機能の測定、セルフチェックの実施、口腔ケアについての指導等を実施。

【令和6年11月末現在の事業実績】

かみかみ百歳体操：実施回数69回、参加者数885人

「よく見て食べよう」

【若い世代を対象とした食品衛生講習会】

高校生、大学生及び専門学校生等、若い世代に対して、食肉はしっかり加熱して食べるよう注意することや、加熱不十分で喫食した場合はカンピロバクター食中毒に罹患するリスクがあることについて周知するため、食品衛生講習会を実施した。

※ 講習会時の配布資料(食中毒リスクの啓発用リーフレット)
(表面) (裏面)



「大切に食べよう」

【給食施設における災害時等の食事提供に関する手引き】

「給食施設における災害時等の食事提供に関する手引き」の更新と、取り組み事例の充実
保健所が作成し大阪市ホームページに掲載している「給食施設における災害時等の食事提供に関する手引き」について、令和6年3月に更新し、引き続き巡回指導時に手引きを活用し災害時の食事提供体制の整備がなされるよう助言・指導を行っている。また災害時対応の研修や訓練の事例について聞き取りを行いホームページに掲載している。
【事例掲載 令和7年1月 2件追加】

【パッククッキングレシピ】の作成】

大阪市食生活改善推進員協議会と協力して作成した「パッククッキングレシピ」を大阪市ホームページに掲載・配付し、広く調理方法について周知するとともに、市民参加の調理実習等で活用できるようすすめている。
【レシピ配付数 1,070枚】



【食品ロスの削減】

手つかずのまま捨てられている食品や食べ残しといった「食品ロス」を削減するため、本市ホームページや各種講座、イベントにおいて、「フードドライブ」、「生ごみ3きり運動」、「30・10運動」の推進に向けた啓発を実施している。さらに、食品ロス削減月間である10月には、本市との連携協定に基づき、市立小学校の全児童に配付されている子ども環境情報紙「エコチル」に「食品ロス」の特集記事を寄稿した。また、食材やエネルギーを無駄にせず、生ごみを減らすことを、買い物から調理、食事、後片付けまでの一連の流れの中で実践する「調理の工夫で食品ロスを減らす料理教室」を開催した。

複数のテーマの取組

【食育イベントの実施】

外食や中食利用者の多くを占める青壮年層に対し、栄養成分表示の活用、栄養バランスの重要性、野菜摂取増加等についての普及啓発をさらに推進させるため、市内大学のキャンパスや会社の社員食堂、商業施設等に会場提供等協力を得て、啓発用媒体の展示、体験型の食育ゲーム等を取り入れた食育イベントを実施している。

【25回 4,037人】(令和7年1月末現在)

【食育学生ボランティアの養成】

若年層の時期から自らの健康に関心を持ち、これからのライフステージにおいて主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、早期からの正しい食生活・生活習慣形成に対する働きかけが重要であるため、市内の管理栄養士養成校において、将来保護者になる世代でもある自身の健康づくりについて再認識し、望ましい食生活・生活習慣に関する講座を実施した。講座受講者のうちボランティアに登録した学生には、食育イベント等にボランティアとして従事してもらった。

【ライフステージ別の取り組み】

母子保健事業(妊婦教室、離乳食講習会、乳幼児健診、地域ふれあい子育て教室)、食育講座、地域健康講座等において、食育に関心を持ち、実践できるよう、正しい知識・情報の普及、実践のための支援を実施。

【ホームページ等による情報発信】

広報紙や市・各区ホームページ、各区SNS、食育情報発信Facebook「たべやん通信」に食育に関する情報発信を実施。

・「食育推進ネットワーク情報誌」を発行し、各区食育推進ネットワークを通じて配付。

【2回855枚】(令和7年1月末現在)

【介護予防教室】

高齢者が要支援・要介護状態になることをできる限り予防し自立した活動的な生活を送ることができるよう、1地域あたり年間12回のプログラムを実施し、内1回以上は食事・栄養と口腔機能に関する講話や実習等を取り入れたフレイル予防、介護予防に資するプログラムを実施。【令和6年11月末現在の事業実績】

食事栄養:実施回数278回、参加者数3,260人

口腔機能:実施回数265回、参加者数2,960人

【小学校・中学校】

・保護者・地域・市民等を対象として、食育展の開催し、食育に関連した展示等を通じて啓発を行った。

・各区での実施(未確定)

・市役所ロビーでの実施(令和6年11月)

【学校における食育展 市役所ロビーで開催】



・保護者を対象として試食会を開催し、給食や基本テーマに関する講話、掲示等を通じて啓発を行った。(※取りあげたテーマは未確定)

・栄養教育推進事業において、児童生徒への食に関する指導の授業を行ったり、配付資料を通じて家庭への啓発を行った。(※取りあげたテーマは未確定)

議 題 (2)

第4次大阪市食育推進計画の取組状況について

②第4次大阪市食育推進計画の進捗状況

第4次大阪市食育推進計画の進捗状況

1.すすめる

◆ ライフステージに応じた食育

○家庭・地域における食育

【胎児期・乳幼児期】

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
妊婦教室(栄養関係)	人/回	1,710/210	1,380/173	1月末現在	①順調		健康局 健康づくり課
離乳食講習会	人/回	2,465/300	2,030/252	1月末現在	①順調		健康局 健康づくり課
乳幼児健診時啓発(栄養関係)	人/回	14,677/333	17,696/421	1月末現在	①順調		健康局 健康づくり課
地域ふれあい子育て教室(栄養関係)	人/回	1,826/265	1,694/222	1月末現在	①順調		健康局 健康づくり課

【少年期】

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
食育講座	人/回	3,965/256	3,903/211	1月末現在	①順調		健康局 健康づくり課

【青壮年期】

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
地域健康講座(栄養関係)	人/回	2,849/222	2,960/199	1月末現在	①順調		健康局 健康づくり課
骨粗しょう症検診時個別栄養指導	人/回	4,507/305	4,743/270	1月末現在	①順調		健康局 保健所管理課

【高齢期】

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
介護予防地域健康講座(栄養関係)	人/回	3,550/233	3,061/198	1月末現在	①順調		健康局 健康づくり課
介護予防教室	人/回	5,050/450	3,260/278	11月末現在	①順調		福祉局 地域包括ケア推進課
生活支援型食事サービス事業	人/回	6,475/1,088,703	6,814/1,073,190	11月末現在	①順調		福祉局 地域包括ケア推進課

◆ ライフステージに応じた食育

○教育、保育施設における食育

【保育所】

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
<こどもの朝食欠食の減少につながる幼児・保護者への啓発>							
[公立保育所]							
朝食紙芝居	人/回	1,695/49	3,221/191		①順調	こども青少年局	幼保企画課
リーフレットによる啓発	枚	2,111	4,585		①順調	こども青少年局	幼保企画課
[民間保育施設]							
リーフレットによる啓発	施設	733	769		①順調	こども青少年局	幼保企画課
<保育計画に位置づけた食育年間計画の作成の推進(民間保育施設)>							
食育年間計画の内容充実に向けた助言	施設	—	241		①順調	こども青少年局	幼保企画課

【地域子育て支援施設等】

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
食の講座の開催	人/回	1,235/281	1,119/263	1月末現在	①順調 栄養士等を講師とした食に関する講座、食育支援担当者による離乳食・料理・手作りおやつの献立紹介や実物展示、調理実習を行い、調理方法や調理ポイントを説明し、調理に対する不安・負担感の軽減につなげている。	こども青少年局	保育所運営課

【幼稚園】

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
<食物への関心>							
食物への関心に関する取組	%	100	100	6月末現在	①順調	教育委員会事務局	初等・中学校教育担当
<食べる喜びや感謝の気持ち>							
食べる喜びや感謝の気持ちに関する取組	%	100	94	6月末現在	①順調	教育委員会事務局	初等・中学校教育担当
<食習慣の育成>							
食習慣の育成に関する取組	%	94	96	6月末現在	①順調	教育委員会事務局	初等・中学校教育担当
<保護者への啓発>							
保護者への啓発	%	100	100	6月末現在	①順調	教育委員会事務局	初等・中学校教育担当

◆ ライフステージに応じた食育

○教育、保育施設における食育

【小学校・中学校】

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
<栄養教育推進事業の充実>							
栄養教育推進事業の充実	回/年	1,830		未確定		教育委員会事務局	保健体育担当
<中学校における食育指導資料「食育つうしん」の配付>							
中学校における啓発資料(食育つうしん)の配付	回/年	11	7	11月末現在	①順調	教育委員会事務局	保健体育担当
<食育展の開催>							
食育展の開催	回/年	1	1		①順調	教育委員会事務局	保健体育担当
<学校給食献立コンクールの実施>							
学校給食献立コンクールの実施	回/年	1	1		①順調	教育委員会事務局	保健体育担当
<学校給食>							
学校給食献立表の家庭への配付	回/年	12	8	11月末現在	①順調	教育委員会事務局	保健体育担当
試食会の開催	校/年	106		未確定	①順調	教育委員会事務局	保健体育担当
学校給食における地場産物を活用した取組	R6～新規指標			未確定		教育委員会事務局	保健体育担当
<学校における体系的な食育の推進>							
ICTを活用した食育	R6～新規指標			未確定		教育委員会事務局	保健体育担当

◆ 歯と口腔(こうくう)の健康づくりにおける食育の推進

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
歯と口腔に関する職員研修等	人/回	486/6	648/9	1月末現在	①順調	健康局	健康づくり課
地域リハビリテーション活動支援事業	人/回	1,739/117	885/69	11月末現在	①順調	福祉局	地域包括ケア推進課

2. つくる・つながる

◆ 食育推進ネットワークの強化

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
各区食育推進ネットワーク会議の開催	人/回	1,048/84		未確定		健康局	健康づくり課
食育推進ネットワーク情報誌の発行	枚/回	1,554/3	855/2	1月末現在	①順調	健康局	健康づくり課

◆ 食育推進ネットワークを通じた食育の推進

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
食育展等の開催	人/回	22,965/54	7,852/35	12月末現在	①順調	健康局	健康づくり課

◆ 食育ボランティアの養成と活動支援

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
食育ボランティアの養成	人	393	400	1月末現在	①順調		健康局 保健所管理課

◆ 飲食店を通じた食育の推進

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
市民への栄養成分表示の活用方法に関する啓発	人/回	4,782/13	4,037/25	1月末現在	①順調		健康局 保健所管理課
栄養成分表示等を通じた食育(技術的支援)	件	17	17	1月末現在	①順調		健康局 保健所管理課

◆ 「やさいTABE店」を通じた食育の推進

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
やさいTABE店の登録店舗数	店舗	220	254	1月末現在	①順調		健康局 保健所管理課
やさいTABE店の周知・啓発	枚	12,000	11,000	1月末現在	①順調		健康局 保健所管理課

◆ 特定給食施設を通じた食育の推進

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
健康・食生活に関する情報を記載したポスターの配付	枚	495	421	1月末現在	①順調		健康局 保健所管理課

◆ なにわの伝統野菜の普及啓発

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
なにわの伝統野菜の普及啓発	部	1,990	1,937	12月末現在	①順調		経済戦略局 産業振興課

◆ 農業に関するイベントの実施

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
食関連事業者向けイベント	回	1	1	12月末現在	①順調		経済戦略局 産業振興課
農業体験	回	2	1	12月末現在	①順調		経済戦略局 産業振興課

◆ 民間連携による食育の推進

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
市内の大学等のイベントと連携した取組	人/回	347/4	314/4	12月末現在	①順調		健康局 健康づくり課

3.安心・安全

◆ 食品ロスの削減

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
食品ロス削減のために、何らかの行動をしている市民の割合の増加	%	99.3	99.3		①順調		環境局 家庭ごみ減量課

◆ 調理の工夫で食品ロスを減らす料理教室の開催

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
親子エコ・クッキングの開催	人/回	15/1	18/1	1月末現在	①順調		環境局 家庭ごみ減量課
調理の工夫で食品ロスを減らす料理教室の開催	人/回	227/10	471/12	1月末現在	①順調		環境局 家庭ごみ減量課

◆ エコ農産物の推進

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
エコ農産物の申請面積	a	172.72	178.62	12月末現在	①順調		経済戦略局 産業振興課

◆ 大阪市中心卸売市場の食育

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
市場見学	人	1,883	2,797	12月末現在	①順調		中央卸売市場 企画課
料理教室	人/回	715/35	719/29	12月末現在	①順調		中央卸売市場 企画課

◆ 消費生活に関する講座の開催

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度				
エルちゃんの“わん”デー講座	人/回	65/2	59/1	12月末現在	①順調		市民局 消費者センター

◆ 食品表示の適正化に関する取組

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当		
		令和5年度	令和6年度			健康局	生活衛生課	
食品表示の適正化の取組	-	適宜監視・指導を実施	適宜監視・指導を実施		①順調		健康局	生活衛生課

◆ 食品衛生に関する講習会の開催及び積極的な情報発信

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当	
		令和5年度	令和6年度			健康局	生活衛生課
若い世代を対象とした食品衛生講習会	人/回	2,016/84		未確定	①順調 コロナ禍の影響も無くなり、順調に講習会を実施できている。今年度の実績についても全て集計はできていないが、昨年と同様の実施状況であり、50回は達成できる見込みである。	健康局	生活衛生課

◆ 食の安全市民体験型学習会の開催

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当		
		令和5年度	令和6年度			健康局	生活衛生課	
食の安全安心体験学習	人/回	14/1	17/1		①順調		健康局	生活衛生課

◆ 大阪市食品衛生監視指導計画策定時における市民等の意見反映

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当		
		令和5年度	令和6年度			健康局	生活衛生課	
大阪市食品衛生監視指導計画の策定に係るパブリック・コメントの実施	回	1	1	R7 1/14~ 2/13に 実施	①順調		健康局	生活衛生課

◆ 災害時の備えについての啓発

主な取組	単位	取組実績		備考	取組の進捗評価	担当		
		令和5年度	令和6年度			健康局	健康づくり課	
家庭での食品備蓄等の啓発	人/回	7,781/480	6,197/280	12月末現在	①順調		健康局	健康づくり課
災害時のためのパッククッキングレシピ集HP掲載	件	—	1,749アクセス 126ダウンロード	1月末現在	①順調		健康局	保健所管理課
特定給食施設指導時における災害時の食事提供体制についての指導・助言	施設	495	400	1月末現在	①順調		健康局	保健所管理課
給食施設における災害時の食事提供に関する取り組み事例HP掲載	件	5	2		①順調		健康局	保健所管理課

議 題 (2)

第4次大阪市食育推進計画の取組状況について

③令和6年度食育月間の取組等

ワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会

<大会概要>

◇日時：令和6年6月1日（土）10時～17時
2日（日）10時～16時

◇会場：大阪南港ATCホール

◇テーマ：いのち輝くミライ食育

◇主な内容：

- ・食育活動表彰
- ・食育に関するステージイベント・ブース展示
- ・大阪産農林水産物や大阪ゆかりの料理等の飲食・販売

◇出展者数：188団体

◇来場者数：約30,000人

(6/1約13,000人 6/2約17,000人)

農林水産省の食育活動表彰において、
大阪市食生活改善推進員協議会が
「消費・安全局長賞」を受賞
されました。

紹介動画



大阪・関西万博 ~プレイベント~

いのち輝くミライ食育
ワクワクEXPO
with
第19回
食育推進
全国大会

大阪府

2024
6/1(土)・2(日) 大阪南港ATCホール
10:00-17:00 10:00-16:00

入場無料

6/1e 10:15から開会式・第8回食育活動表彰表彰式

食の大阪で、かつてない食育体験。

6/1e 吉村知事&横山市長がライブクッキング!

6/2e 豪快!大起水産マグロ解体ショー

6/1e さかなクンと大阪湾の秘密をギョギョッと探検!

6/1e 万博パビリオンを先取り!

6/1e 6/2e いか焼き、たご焼き、大阪の名店が大集合! キッチンカーコーナー

6/2e 小山市長とNMB48メンバーと地域の食文化を学ぼう!

6/1e 6/2e ミヤクミヤクくまモンが万博テーマソングでダンス合戦!?

6/1e 6/2e 会場を越えてATC館内も巡る食育スタンプラリー!

スタンプを全部集めて、抽選に参加しよう。日本八八のチャウエッセン\1年分/や、雪印メグミルクの6Pチーズ\1年分/が当たるかも!

詳細はこちら! 食育推進全国大会 大阪

※入場者多数の場合、入場を制限する場合があります。
※プログラムの内容・時間は予告なく変更する場合があります。

主催：農林水産省、大阪府、大阪市、第19回食育推進全国大会大阪実行委員会
後援：内閣府、消費庁、こども家庭庁、文部科学省、厚生労働省、全国知事会、全国都府県連合会、全国市長会、全国市議会連合会、全国町村会、全国町村議会連合会、特別協力：ATC

食育推進キャラクター「たべやん」の活動



ベジチェック

「たべやん」の着ぐるみが完成、各種イベントで活躍しました。

やさいTABE店でランチ



ミヤクミヤク、もずやんとも共演



こどもたちにも大人気



野菜計量クイズに挑戦



議 題 (2)

第4次大阪市食育推進計画の取組状況について

④令和6年度各団体における食育の取組

令和6年度食育の取組内容等

団体名	大阪市食生活改善推進員協議会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>大阪市が食育推進や健康づくりのリーダーを養成するために開催している「健康講座保健栄養コース」の修了者が、栄養及び食生活改善の実践活動をすすめ、広く地域の健康づくり、食育の推進に寄与することを目的に、昭和52年5月に設立し、令和4年度に45周年を迎えました。</p> <p>会員数 2,583名(令和6年度)</p>
取組内容	<p>1. ワクワク EXPO with 第19回食育推進全国大会に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年6月1日・2日 大阪南港 ATC ホール ・来場者:2日間で約3万人 ブース来場者:食育体験 950人、リーフレット等啓発 4,700部 ・ブース出展:豆はこびゲーム、食育缶バッチ作り、食育活動内容掲示、レシピ等リーフレット配布 ・第8回食育活動表彰(農林水産省)授賞式が行われ、「消費・安全局長賞」を受賞しました。 <p>2. ライフコースに応じた食育活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて24区各地域で実施 <p>(1)プレママクッキング、キッズクッキング、おやこの食育教室</p> <p>子どもの頃から望ましい食習慣を身につけ、食の大切さや楽しく食事をする事、共食の重要性を知ってもらうことを目的に、子どもや保護者、若い女性、妊婦の方を対象に実施。</p> <p>(2)生活習慣病予防教室</p> <p>健康寿命の延伸と生活習慣病予防を目的に、「減塩しよう」をテーマに、講話や調理実習等の普及啓発活動を実施。みそ汁の塩分濃度測定も行い減塩の啓発をした。</p> <p>対象者を若者(中学・高校・大学生等)・働き・高齢世代に分け、地域の学校や団体と協働で講習会やシニアカフェ等を行った。</p> <p>(3)男性のための料理教室</p> <p>高齢者の単身世帯が増加する中、男性を対象に「食生活に関する自立への支援、地域とつながりづくり」を目的に、調理実習を中心とした講習会を実施。</p> <p>3. 環境に配慮した「エコクッキング」の開催</p> <p>家庭での食品ロス削減に向けて、持続可能な環境に配慮した食生活を推進することを目的に、大阪市環境局と協働で「エコクッキング」を実施。会オリジナルの「えこレシピ集」を大阪市保健所と協働で作成し、普及啓発を行った。</p> <p>4. 災害時の備え「パッククッキング」</p> <p>災害時や日常においても活用できるポリ袋を使った「パッククッキングレシピ」を大阪市保健所と協働で作成し、普及啓発を行った。</p> <p>(1)各区で調理実習等の普及啓発を実施</p> <p>(2)「あべてん防災イベント」(あべのハルカス)で、パッククッキングレシピ設置</p> <p>5. 「食育の日」の取組や食育イベント等</p> <p>各区で「食育月間」や「食育の日」に、食育キャンペーン等を実施。「朝ごはんを食べよう」「減塩しよう」を主テーマに会場で献立等の展示、リーフレット配布、食品釣り等のゲームで普及啓発を行った。大阪市たべやんレシピ「クックパッド公式キッチン」にメニューを掲載し、情報発信を行った。</p> <p>※参考:令和5年度活動実績</p> <p>活動回数 28,616回 人数 222,399人</p> <p>(集会:9,543回 170,316人、対話・訪問:19,073回 52,083人)</p>



6. 今後の予定

令和7年度は、8つの基本テーマ「野菜を食べよう」を中心に、ライフコースに応じて地域に密着した食育活動を推進していきます。

令和6年度食育の取組内容等

<p>団体名</p>	<p>一般社団法人 大阪府医師会</p>
<p>団体等の概要 (設立・会員数・目的等)</p>	<p>日本医師会ならびに大阪府内の郡市区等医師会との連携のもと、医道の高揚、医学および医術の発達ならびに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的として、昭和22年に設立。 会員数は医師17,257名です。(令和6年12月31日現在)</p> <div data-bbox="1292 264 1460 421" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1268 421 1492 443">イメージキャラ「らっふい〜」</p>
<p>取組内容</p>	<p>■ 提供・協力している広報媒体を通じて、医療・健康に関する情報を発信しています。 (NHK ラジオ「季節の健康」、毎日放送ラジオ「ドクターM」、毎日新聞「ご近所のお医者さん」など)</p> <div data-bbox="343 548 1492 1120" data-label="Image"> </div> <p>■ 府民の健康向上を目指して、府民向けの健康イベントを開催しています。 (健康問題相談、大阪の医療と福祉を考える公開討論会、シルバー健康大学、エイジレス健康講座など)</p> <div data-bbox="391 1198 901 1534" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="933 1198 1444 1534" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="367 1556 1460 1657" data-label="Text"> <p>大阪糖尿病対策推進会議の構成団体として、11月14日の世界糖尿病デー前後に、World Diabetes Day2024おおよかのイベントを開催。 血糖値、HbA1C測定、啓発ポケットティッシュ配布、栄養相談、医療相談、セレモニーを行っています。</p> </div> <p>■ 特定健診・特定保健指導を通じて、食生活の改善により生活習慣病の予防効果が期待できる方に対するサポート、医療関係者への情報提供を行っています。 また、行政機関・医療保険者と連携し、特定健診受診率向上に取り組んでいます。</p> <p>■ 地域住民に適切な医療を提供できるよう、会員医師や医療関係者を対象に研修会・講習会を開催しています。</p> <p>■ 郡市区等医師会では、地域における健康イベントを開催し、パネル展示などによる疾病予防や健康づくりの普及啓発に努めています。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

令和6年度食育の取組内容等

団体名	公益社団法人 大阪府栄養士会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>保健、医療、福祉及び教育等の分野において、対人専門職人としての倫理と、科学的かつ高度な技術に裏付けられた食と栄養の指導を通して、府民の公衆衛生の向上に寄与することを目的とする事業を行っています。会員は管理栄養士・栄養士です。会員数は、約 3,000 名です。</p>
取組内容	<p>■大阪・関西万博～プレイベント～ワクワク EXPO with 第19回食育推進全国大会 (主催 農林水産省、大阪府、大阪市、第19回食育推進全国大会大阪実行委員会) フードモデル式・タッチパネル式の食育 SAT システムと InBody(体成分分析装置)を使用した、体験型の栄養診断ブースを出展。 2日間で計600名を超える方々に食事についてアドバイスをしました。 開催日：令和6年6月1日(土)・2日(日) 会場：大阪南港 ATC ホール</p>   <p>■府民食生活講座「子ども料理教室」 テーマ：「野菜バリバリ朝食モリモリ」 対象：大阪府内の小学生 令和6年7月27日(土) 吹田市夢つながり未来館 4階 調理室 参加者16名 令和6年10月26日(土) 交野ゆうゆうセンター3階 調理室 参加者13名</p>   <p>■栄養のあるまち In Suita SST (主催 一般財団法人 日本栄養実践科学戦略機構、株式会社朝日エル、プライム ライフ テクノロジーズ 株式会社) 食育SATシステムを使った栄養食事相談・InBody 測定 9日間で300名以上の方々に食事についてアドバイスをしました。 開催日：令和6年10月12日(土)・13日(日)、10月26日(土)・27日(日)、 11月9日(土)・10日(日)、11月17日(日)、11月23日(土)・24日(日) 会場：大阪府吹田市岸辺 Suita サステイナブル スマート タウン(Suita SST)交流公園</p>  <p>■BK(NHK 大阪放送局)大感謝祭 2024 (主催 NHK 大阪放送局) 食育 SAT システムを使い、体験型の栄養診断ブースを出展。 2日間で約700名の方々に食事についてアドバイスをしました。 開催日：令和6年11月1日(土)・2日(日) 会場：NHK 大阪放送局</p>   

■自然に健康になれる持続可能な食環境づくり事業 食育 SAT を活用した栄養相談

(主催 大阪府、国立研究開発法人・医薬基盤・健康・栄養研究所)

食育SATシステムを活用して、利用者が野菜の摂取量をリアルに認識することにより、今後の食生活改善につなげることを目的に実施しました。

令和7年1月9日(木)	桃山学院大学	参加者32名
令和7年1月14日(火)	立命館大学	参加者70名
令和7年1月15日(水)	帝塚山学院大学	参加者57名
令和7年1月17日(金)	大阪ガスネットワーク株式会社	参加者70名
令和7年1月22日(水)	山崎製パン株式会社	参加者40名
令和7年1月30日(木)	味の素株式会社	参加者40名



■食育ワクワク EXPO in 無印良品 グランフロント大阪

(主催 大阪府・大阪府食育推進ネットワーク会議) (共催 無印良品 グランフロント大阪)

食育 SAT システムを使い、体験型の栄養診断ブースを出展。

2日間で約600名の方々に食事についてアドバイスをしました。

開催日：令和7年2月15日(土)・16日(日)

会場：無印良品 グランフロント大阪



令和6年度食育の取組内容等

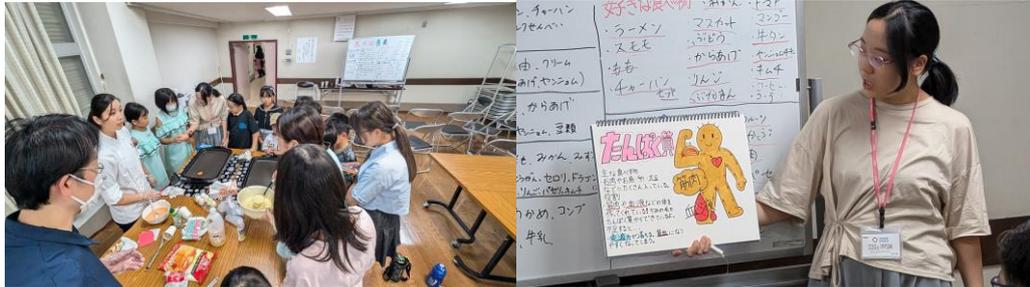
団体名	一般社団法人 大阪府歯科医師会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>大正15年設立。 会員数5,365名(令和6年3月末現在)。 本会は、医道の高揚及び学術研鑽を通じて、地域社会における歯科医療の促進と公衆衛生の普及啓発を図ることを目的とする。</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ ライフステージごとの「噛むこと」「味わうこと」の大切さを考えた場合に、高齢者の口腔機能保持も大きな要素となることから、8020達成者を表彰し、生涯を通じた歯の健康づくりの大切さを啓発しました。 ■ 本会の中に在宅歯科医療連携室の相談窓口を設置し、居宅療養でお困りの市民の方々に対応しています。 ■ 大阪市生涯歯科保健推進事業の中で小児に対する「食べ方」の機能発達を促す取組みを実施し、大阪市オーラルフレイルの普及啓発事業の中で高齢者に対する誤嚥防止等に関する取組みを実施しています。 ■ ワクワクEXPOwith 第19回食育推進全国大会(主催:農林水産省、大阪府、大阪市、第19回食育推進全国大会大阪府実行委員会) 日本歯科医師会と大阪府歯科医師会の共催にてブース出展し、8020財団提供の噛むカムチェックガムを使用して「かむことの大切さ」について普及啓発を行いました。 開催日:令和6年6月1日(土)～2日(日) 場 所:ATCホール 噛むカムチェックガム実施者数:399名 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>

令和6年度食育の取組内容等

団体名	社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	「大阪市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ること」を目的として、昭和26年5月に設立。
取組内容	<p>大阪市社会福祉協議会や各区社会福祉協議会が関与している食育関連事業は次のとおり。</p> <p>1 地域こども支援ネットワーク事業(市社協)</p> <p>本会では、こども食堂等、地域でこどもの居場所活動を行っている団体をネットワーク化し、企業等支援者からの物資提供の受入れなど、こどもの居場所活動の運営を支援する「地域こども支援ネットワーク事業」を実施している。</p> <p>こどもの居場所の活動は、こどもたちに貴重な居場所を提供するだけでなく、家庭の事情で孤食、欠食となりがちなこどもたちへの食育(共食)にも役立つ活動となっている。</p> <p>◇令和7年1月末時点の登録団体数:379団体、473箇所</p> <p>◇主な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域こども支援団体連絡会の開催 こども支援に関わる団体の協働・連携を図るため2ヶ月に1回開催。 ・企業等支援者からの物資提供の受入れ 物資提供104件の申し出があり、延べ2, 207団体に提供(※令和7年1月31日時点) ・こども支援の向上に向けた広報・啓発 大阪市ボランティア・市民活動センターが年間10回発行するボランティア・市民活動情報誌「COMVO」では、毎号必ず、大阪市内のこどもの居場所について掲載。 令和7年2月8日に「こどもたちの体験の格差」に関するシンポジウムを開催。 ・企業等との共催による食育や体験イベントの開催 <p>(1)ドクターリセラ株式会社 添加物等の身近な化学物質による体への影響等を学んだうえで、企業が取り扱う無添加食品・天然はちみつのお菓子など、食育を通じた学びや体験の提供。</p> <p>(2)有限会社阪急泉南グリーンファーム(エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 系列) 実際の農場にて農作物について学び、畑での収穫体験及び収穫した作物の実食体験。</p> <p>(3)学校法人コミュニケーションアート 大阪ホテル・観光&ウェディング専門学校 学校内の疑似施設(チャペル)において、ブライダル科の学生が実施する模擬挙式にこどもたちが参加するとともに、体験ブース(バーテンダー等)を設置し、こどもたちが挙式に関するさまざまな職業を体験。</p> <p>2 高齢者食事サービスの支援(区社協)</p> <p>市内には地域福祉活動の一環として高齢者食事サービスを実施している地域が多くあり、区社協では、活動継続等について支援している。</p> <p>高齢者食事サービスの活動は、高齢者の交流機会の提供や見守りにとどまらず、孤食・偏食になりがちな高齢者の食育にも役立っている。また、区役所や地域包括支援センター等と連携し、参加した高齢者に対し食生活を含め健康講座や健康チェック等を行っている。令和2～4年度は、コロナ禍により活動を中止・休止する地域が増えたため、各地域と連携し、会食から配食、テイクアウトへの切り替えなど、一部事業内容を変更して実施してもらえるよう、また、活動を再開してもらえるよう支援した。現在に至るまで、活動再開率は段階的に上昇しており、令和6年2月には9割以上となっている。</p>

	<p>◇令和6年2月現在の状況(市社調べ)</p> <p>高齢者食事サービス実施箇所:333(100%)</p> <p>うち、通常通り再開:225(67.6%)</p> <p>一部変更して活動:94(28.2%)</p> <p>中止・休止:14(4.2%)</p>
--	--

令和6年度食育の取組内容等

団体名	大阪市PTA協議会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	昭和25年11月24日 設立 会員数 131, 137人(令和5年 12月現在) 各区PTA協議会並びに関係諸機関・団体との調整、協調をとおして、単位PTAの健全な発展と児童生徒の健全育成を図るための組織。
取組内容	<p>阿倍野区 ときわこども食堂</p> <p><日時> 毎週火曜日16:00～18:30</p> <p><場所> 常盤文化会館</p> <p><参加者> 常盤小学校を中心とした地域の小学生約50名</p> <p><目的> 地域の子供達とのコミュニケーションの場であり、遊び、学習、食事をテーマにした第三の居場所。学生ボランティアの活躍の場にもなる。</p> <p>今回は通常の活動とは別で学生ボランティアが中心となったイベントの紹介です。 地域にある「辻調理師専門学校」の学生達が開催してくれました。 「野菜嫌いでも食べれる野菜のパンケーキ」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 人参とほうれん草のジュースを水と牛乳を使ってそれぞれつくります。 ② パンケーキの素をそれぞれのジュースで溶いて赤と緑ものをつくります。 ③ 赤はお絵かき用で絞り出せる袋か容器に入れます。 ④ ホットプレートで温め赤色のできなえをかいていきます。 ⑤ 緑色をおたまですくい、赤色のうえにのせていきます。 ⑥ 両面をこんがり焼けば出来上がり、表には自分で書いた絵が出てきます。   <p>パンケーキを食べたらみんなでお勉強です。 5大栄養素、炭水化物、脂質、タンパク質、ビタミン、ミネラルについてしっかり学びました。</p>

阿倍野区

常盤小学校の食育への取り組み



毎日の給食の材料を三大栄養素に分けて生徒たちにわかりやすいように、写真で紹介している。文字ではなく写真や画像を使うことで、画像優位性硬化(文字よりも記憶に残りやすい)や視覚化による効果(自分の思い描いているイメージや、言葉で明確に言い表すことができない事柄を目に見えるようにすることで、その情報の関係性や構造が的確に伝わる。)が期待できる。



毎月季節に合わせた食材をいろいろ工夫して紹介している。

季節の食べ物を食育に取り入れくことで、健康や環境によいこうかが期待できる。

- ・栄養価が高く濃い味付けをしなくてもおいしい。
- ・素材そのものの味わいを楽しみながら食事をとれる。
- ・取りたての新鮮な食材を美味しく味わいながら、ヘルシーに食事ができる。

常盤小学校は1300人ほどの児童が通うので小回りのきいた食育は難しく、2年生と5年生だけが受けることができる。座学以外に2年生はおにぎりを握る授業、5年生はお茶を入れる授業がうける。

おにぎりは毎回人気で、炊き立てのお米の香りやおいしさを味わってもらおう。

令和6年度食育の取組内容等

団体名	一般社団法人 大阪府薬剤師会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>本会は、日本薬剤師会・都道府県薬剤師会並びに大阪府内に所在する地域及び職域の薬剤師会との連携のもと、薬剤師の倫理の高揚及び学術の振興を図り、薬学及び薬業の進歩発展を図ることにより、大阪府民の健康な生活の確保・向上に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立】 明治23年1月11日</p> <p>【会員数】7666名(2025年1月末現在)</p>
取組内容	<p>① エイジレス健康講座 ATCにて大阪府医師会、大阪府歯科医師会との共催で「健康講座」を実施</p> <p>② 薬と健康の週間「府民のつどい」 医薬品や薬剤師等の専門家の役割に関する正しい知識を広く国民に浸透させることにより、国民の保健衛生の維持向上に寄与することを目的とする なんばクジラパークにて薬事衛生等をクイズ形式で府民の皆様に参加して頂き、情報提供を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>③ 府民健康フォーラム 主催:大阪府薬剤師会・大阪府臨床検査技師会・大阪府栄養士会 後援:大阪府、大阪市 質の高い睡眠のためというテーマで専門医より基調講演後、各団体からの講演</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>④ 健康サポート薬局の研修(新規・継続) 健康食品や食品について学び、症例ごとのグループディスカッションにて知識の確認を行う</p> <p>⑤ 地域薬剤師会ごとに健康展・健康まつりを開催し、薬の適正使用とともに食生活改善についてのセミナー開催</p>

令和6年度食育の取組内容等

団体名	大阪市学校保健会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>本市の学校保健の振興を図るとともに、その推進運営に寄与することを目的として、昭和26年7月に設立。</p> <p>構成員等は大阪市立小、中学校及び幼稚園の学校医、学校歯科医、学校薬剤師、校園長、保健主事、養護教諭、PTA、その他学校保健関係者となっている。</p>
取組内容	<p>1 区内の学校医等をはじめとする学校保健関係者、保護者を対象に、保健大会において講演会等を実施し、今後も各区学校保健協議会における保健大会で、各区の健康課題に応じた講演会等を実施</p> <p>2 学校保健タイムス発行(年2回) 学校保健の振興を図るとともにその維持運営に寄与することを目的とし、学校保健に関する現状や課題、調査研究など様々な情報を提供</p> <p>3 健康づくり推進 健康づくり推進指定校(小学校)における取組</p> <p>①主題 歯・口を健康にたもとう～歯みがき・かむことを通して～</p> <p>②主題設定の理由 新型コロナウイルス感染症の流行により、生活様式にも様々な変化がもたらされた。基本的な生活習慣である「手洗い」は、習慣が強化された。半面、マスクをして過ごす生活を余儀なくされていたこともあり、子どもたちの口元は隠れ、「うがい」「歯みがき」の習慣は衰退してしまった。 「歯や口の健康」は全身の健康につながると考え、今一度、子どもたちに、「歯や口の健康」についての意識を持ち続けてほしいと願い、主題を設定した。 そこで、研究にあたり、児童委員会活動を中心に、子どもたちが歯みがきの重要性やだ液の働き、かむことから歯の大切さなど関心を持って、取り組めるような活動を行う。</p> <p>③実施内容 6月:「歯と口の衛生週間」を実施 ・養護教諭が「飲み物に含まれる砂糖の量」の掲示物を作成し、「歯と口の衛生週間」の間、玄関に掲示を行う。 11月:第2回「歯と口の衛生週間」を実施する。 ・11/5(火)～11/11(月)昼食後の歯みがきの実施する。</p>

令和6年度食育の取組内容等

団体名	一般社団法人大阪市私立保育連盟	
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>当連盟は、1956年(昭和31年)に設立され、現在502ヶ園の認可された保育所(園)・認定こども園・小規模事業が加盟しています。【2025年1月1日現在】加盟園は思想・信条の別なく民間保育園の特性を發揮し、次世代を担う子ども達の保育事業に取り組んでいます。また、地域の皆様の要望に応え、子育て支援事業を行っています。市内民間認可保育所(園)の組織として、相互の連携、協調を図りながら、次の事業計画を行い、民間保育所(園)の運営の推進、保育の質的向上を図っております。</p>	
取組内容 令和6年度 実績	<p>第1回食育研修 2024年6月5日(水)参加人数141名 場所:大阪府社会福祉会館 5階 501 講師:三木 絵梨香 氏 (株式会社まんなか 代表取締役) 内容:「子どもの食べる機能を知る」 ＊発達には積み重ねであり、口腔の発達は生後すぐから始まる運動発達に深く影響を受けるので、抱っこの仕方や体全体の運動発達を促すことの重要性についてお話いただきました。口腔機能についてはコップ飲みの実習を交えながら、偏食や噛んで食べるとはどういうことなのかについて実践を通して理解を深めました。</p> <p>第2回食育研修 2024年8月26日(月)参加者数94名 場所:エルおおさか 6階 大会議室 講師:重川 周 氏(吹田徳洲会病院 小児科 医長) 内容:「食物アレルギーの理解と対応 ～エピペン実践と災害への備え～」 ＊アレルギーとは何かという基礎知識からはじまり、アレルギーの症状や出現時の対応等をわかりやすくお話いただきました。アナフィラキシーショック時の対応として、エピペンの使用方法や実習も行いました。また、災害時における対応についても学び、今後活かせる研修となりました。</p> <p>第3回食育研修 2025年1月20日(月)参加者数96名 場所:大阪ガス ハグミュージアム 講師:谷口 信子 氏 (大阪成蹊短期大学 栄養学科 教授(栄養学科長)) ホシザキ京阪株式会社 内容「防災食について/スチコンの使用法」 ＊谷口先生から、非常時に備えた防災食についてのお話をいただきました。防災時に保育所(園)でできる役割やレシピを学ぶことができ、調理実習も行い良い体験になったのではないかと思います。また、ホシザキ京阪株式会社様には、スチコンを使用した行事食等の簡単レシピや使用方法について教えていただきました。両方とも試食があり、皆様楽しい実践となりました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>食の安心・安全と子どもたちの育ちを守るために、各施設の食育を推進し 「楽しく食べよう！ゲンキをつくろう！」のテーマのもと、食べるの大好きな子を 各家庭や地域とともに作っていきたいと思います。</p> </div>	  

令和6年度食育の取組内容等

団体名	一般社団法人 大阪市私立幼稚園連合会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>設立： 1969年(昭和44年)11月22日</p> <p>会員数： 加盟園 130園(令和6年4月1日現在)</p> <p>目的： 幼児教育の振興及び教職員の資質向上を図り、もって私立幼稚園・認定こども園の公共性を高め、市民の幼児教育に寄与すること</p>
取組内容 令和6年度 実績	<p>■大阪市から大阪市幼稚園等教員研修事業の委託を受け、その中で、本年度は2回、食育に関する内容の研修会を実施した。</p> <p>1. [食物アレルギーと緊急時の対応] (*市内の全公私立幼稚園・認定こども園対象)</p> <p>(1)日時： 令和6年6月18日(金) 15:30～17:00</p> <p>(2)会場： 大阪科学技術センター401</p> <p>(3)講師： 亀田 誠 先生 (大阪はびきの医療センター小児科主任部長)</p> <p>(4)参加者数： 69名</p> <p>(5)研修内容</p> <p>①アレルギー疾患の傾向と罹患状況 ②食物アレルギーの臨床型の分類</p> <p>③即時型の症状と原因となる食物 ④身体症状の傾向 ⑤食事のガイドラインや基本原則</p> <p>⑥家庭や園における予防策やマニュアル</p> <p>*エピペンの使った緊急時の対応実習</p> <p>*講師は現役の小児科医であり、多くの臨床例をもとに、映像や資料データをもとに、わかりやすく解説いただくとともに、エピペンを使った実習を交えて、現場ですぐに役立つ対応方法について指導いただいた。受講者の貴重な学びの場となった。</p>   <p>2. [幼児期の食] (*市内の私立幼稚園・認定こども園対象)</p> <p>(1)日時： 令和6年9月5日(木) 15:30～17:00</p> <p>(2)会場： 大阪私学会館 301～303</p> <p>(3)講師： 中森 玲子 先生 ((株)イーアドバンス管理栄養士)</p> <p>(4)参加者数： 69名</p> <p>(5)研修内容</p> <p>① ウイルスに負けない体力づくり(免疫力をあげるには)</p> <p>② バランスのよい食事に関して</p> <p>③ 先生方が悩む子どもの「食」事情～幼児食～</p> <p>④ 乳幼児の口腔機能について</p> <p>⑤ 食品添加物・食物アレルギー</p> <p>⑦ 味覚について</p> <p>⑧ 箸の持ち方・姿勢</p> <p>愛ある食環境が愛ある思考を育むことがよくわかり、保育者としての気づきや必要な知識・技能についても知る事ができた。</p> 

令和6年度食育の取組内容等

団体名	大阪市農業協同組合
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	設立 平成4年4月1日 職員数 225名 目的 大阪市内農業の発展と生産力増進や農業者の生活を守るため
取組内容	<p>令和6年6月29日(土)</p> <p>JA 大阪市営農促進センターの圃場にて、毎年「親子で農業体験」を実施している。今年では11組の家族計33名が参加した。夏野菜(トウモロコシやトマト、パプリカやジャガイモ等)の収穫とJA職員と一緒に田植を泥だらけになりながら手植で体験し、後に田植機にてデモンストレーションを見て楽しんでもらった。その場で収穫した夏野菜とJA大阪市直売所『おいで～菜』平野店にて使用できる金券をプレゼントとした。</p>  <p>令和6年11月9日(土)</p> <p>第2回「親子で農業体験」を開催し前回6月に参加した方を中心に8組の家族計23名が参加した。サツマイモ掘りや秋冬野菜(ハクサイやキャベツ)の収穫体験を実施し、夏に田植を行った稲を慣れない鎌を使い稲刈り体験を実施した。稲刈り体験はJA職員から鎌の使い方を教わり、傍につきながら怪我のないように注意しながら実施し、残りの面積はコンバインでの刈り取りのデモンストレーションを行った。初めて見るであろう機械での刈り取りに歓声が沸き楽しそうにみており、コンバインとの記念撮影なども行った。また営農促進センター内にある米の乾燥機や粳摺り機、精米機など見学も行った。参加者へ収穫した野菜や新米1kgとJA大阪市直売所の金券をプレゼントした。</p> 

令和6年度食育の取組内容等

団体名	近畿百貨店協会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	近畿百貨店協会は、(一社)日本百貨店協会の地区組織として、百貨店業の健全な発展を図り、国民生活の向上と経済発展に寄与することを目的に活動しています。会員店は、近畿2府4県(+福井県)に10社42店舗、そのうち大阪市には5社8店舗がございます。
取組内容	<p>■バランスよく食べよう、野菜を食べよう、減塩しよう</p> <p>外食がち、野菜が不足、塩分が気になる、忙しくて規則正しく食事がとれない料理が苦手、そんな方に日常的においしい食事をとっていただけるよう、電子レンジで温めるだけで、毎日食べてもあきない馴染みのあるメニューを冷凍保存できるお惣菜を定期的にお届けする「グッドミールラボ」を販売。(2024年12月でサービス終了)</p> <p>■よく見て食べよう</p> <p>昨年度刷新された日本百貨店協会監修の「食品安全衛生パスポート」の活用を会員各店に促し、食品取扱者に対し食品表示に関する知識の周知徹底を図り、食の安心安全を強化。</p> <p>■大切に食べよう</p> <p>会員各店の店頭において、ご家庭で使いきれなかった未使用の食品を回収し、フードバンク団体等へ寄贈することで、食品ロスの削減と意識を啓発。</p> <p>また、食文化継承(和食、地域の食材、郷土料理など)を図るため、各店の店頭において、歳時記(正月、節分、ひな祭り、彼岸、端午の節句、七夕、お盆、月見等)に合わせて、料理の謂れやレシピに関する情報を提供。</p>

令和6年度食育の取組内容等

団体名	公益社団法人 大阪食品衛生協会	
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>飲食等に起因する中毒、感染症及びその他の危害の発生を防止するため、食品関係事業者に対する食品衛生管理の指導や消費者への食品衛生知識の向上を図るための普及啓発事業等を行っています。</p> <p>昭和 35 年 9 月 設立 昭和 53 年 11 月 社団法人認可 平成 25 年 4 月 公益社団法人認定 会員数:正会員 47 業種団体会員 27 特別会員 143 (令和 6 年 3 月末時点)</p>	
取組内容	<p>1 ワクワク EXPOwith 第 19 回食育推進全国大会への参画 6 月 1 日、2 日に大阪南港 ATC ホールにおいて、ATP チェッカーを用い来場者のスマートフォンの汚れ具合を測定し手洗いの重要性をはじめ食品衛生思想の普及啓発を実施した。 啓発物品:約 1000 部</p>   <p>2 食の安全安心啓発ポスター・標語コンクール(募集期間:6/1~9/6) 応募数:ポスター 38 作品、 標語 657 作品 表彰数:ポスター 4 作品、 標語 4 作品 展 示:令和 6 年 11 月 26 日~12 月 8 日 (阪急電鉄大阪梅田駅構内)</p>   <p>3 食中毒予防啓発活動 府下 47 支部が 7 月から 12 月までの間に、地元の主要駅前や商店街及び量販店等計 16 か所、区民祭、健康祭、商工祭、産業祭及び交流祭等計 8 か所、計 24 か所において、通行人、買物客及びイベント参加者に対し食中毒予防啓発グッズやリーフレットを配布するなど普及啓発に努めました。さらに、昨年度から 1 年を通して MBS ラジオにおきまして、当協会オリジナルサウンドロゴ付きの啓発内容を 10 秒間流すことにより、食中毒予防の普及啓発を実施しました。 啓発物品:約 12000 部</p>     <p>4 食品衛生研修会 令和 6 年 7 月 8 日、ホテル京阪京橋グランデにおいて、第 1 部:「食中毒を引き起こす各種菌について」を(地独)大阪健康安全基盤研究所の河合課長に、第 2 部:「事例から学ぶ食中毒事故予防のポイント」を大阪府食の安全推進課の森田副主査に講演いただきました。 受講者:116 名(会員及び府民)</p>  <p>5 ノロウイルス食中毒予防強化事業 (HACCP 研修と合体型) 令和 6 年 10 月 29 日、大阪ガスハグミュージアムにおいて、午前(地独)大阪健康安全基盤研究所の白井主任研究員に「ノロウイルスの特徴と傾向」について、午後は堺市保健所中谷副主査に「HACCP に沿った衛生管理と普及への取組み」について講演をいただきました。 受講者:午前 87 名 午後 106 名 (会員及び府民)</p>  <p>6 食品工場見学研修会 令和 7 年 2 月 18 日、会員及び府民 42 名が FSSC 認証取得施設であるハグルマ(榊山工場(和歌山県))を見学することにより、HACCP に基づく衛生管理を理解並びに食品衛生意識や知識の向上を目的に実施しました。</p>  <p>7 食品衛生フォーラム 令和 7 年 3 月 10 日、ホテル京阪京橋グランデにおいて、会員及び府民約 100 名を対象に、大阪府と共同で食品に関するリスクコミュニケーション「災害時の食品衛生を考える」を開催する予定です。</p>	

議 題 (2)

第4次大阪市食育推進計画の取組状況について

⑤令和7年度基本テーマの取組

第4次大阪市食育推進計画 8つの基本テーマ

かしこく食べよう！
ゲンキをつくろう！



バランスよく食べよう

毎食「主食・主菜・副菜」をそろえ、毎日果物や牛乳・乳製品を食べる等、栄養バランスのとれた食事を実践しましょう。



朝ごはんを食べよう

適切な栄養摂取・食事リズムは基本的な生活習慣を身につけることから重要です。毎日朝食を食べる習慣を身につけましょう。

令和7年度共有テーマ



野菜を食べよう

健康づくりと生活習慣病の予防のために、野菜を1日350g以上食べましょう。



減塩しよう

食塩の摂りすぎは循環器疾患やがんとの関連が大きいといわれています。生活習慣病予防のために、減塩の習慣を身につけましょう。



一緒に食べよう

共食(きょうじょく)は、望ましい食習慣の確立、適切な量と質の食事の摂取につながるとともに、食卓で交わされるコミュニケーションは人間形成の基礎となり、豊かな心を育みます。家族や仲間と一緒に食卓を囲みましょう。



よく噛んで食べよう

食べ物を噛むためには、十分な口腔機能の発達、維持が不可欠です。よく噛むことは、食べ物を味わって食べることに加え、全身を活性化させるという重要な役割を持ちます。よく噛んで、味わって食べましょう。



よく見て食べよう

適切な栄養摂取と健康維持に向け、食品と食品に表示されている栄養成分表示等をよく見て選んで食べましょう。



大切に食べよう

食物からいただく命を大切に、感謝していただきます。これまで育まれてきた食文化を次の世代へと継承していきましょう。

共有基本テーマ「野菜を食べよう」

【全てのライフステージへの啓発】

野菜摂取量増加に向けた啓発媒体を作成し、食育講座、食育イベント等で配付する。また、クックパッド公式キッチン「大阪市たべやんレシピ」にも掲載する。

【食育ボランティア(大阪市食生活改善推進員協議会)の活動支援】

食育ボランティアとして各地域で積極的に活動している大阪市食生活改善推進員協議会に対し、地域での活動に取り組んでいただけるよう令和7年度の共有テーマについての研修会を開催する。また、地域に密着した取組を行えるようレシピを作成し、バランスメニューの紹介や調理体験を盛り込んだ食育が行えるよう支援する。

【特定給食施設を通じた食育の推進】

事業所等で継続的に食事を提供する施設の管理者及び関係者等に対し、適切な給食の運営、喫食者の健康に配慮した食事の提供、食生活に関する正しい情報提供が行なわれるよう、巡回指導を実施している。令和7年度は巡回時には野菜摂取量増加を啓発するポスターを対象施設に配付し、給食施設利用者の健康づくりにつながる行動変容を促す。

【食環境づくり推進事業(やさいTABE店事業)】

市民の健康寿命の延伸と、生活習慣病のリスク低下のため、食生活の改善と野菜摂取量増加を目的とし、野菜をたくさん食べることができる飲食店等を対象とした登録制度を行っている。大阪市HPへの登録店舗リストの掲載とリーフレット作成による事業周知を行う。

【食育イベント】

・やさいチェックの実施

食育月間である6月を中心に、ベジチェックを用いた簡易野菜摂取量診断(やさいチェック)と今後の野菜摂取量増加・食生活改善へ行動変容を促すための指導を実施し、さらに3～5か月後に行動変容の結果検証を兼ねたやさいチェックを再度実施するという取り組みを区役所等と連携して実施する。

【小学校・中学校】

- ・栄養教育推進事業において、児童生徒への食に関する指導の授業を行ったり、配付資料を通じて家庭への啓発を行ったりする。
- ・中学校における食育指導資料「食育つうしん」のテーマに「野菜について」を取りあげ、生徒への指導を行うとともに、家庭への啓発を行う。
- ・児童生徒に対して、給食の時間に、給食献立と野菜を関連付けて指導を行う。
- ・保護者、地域、市民等を対象とした「食育展」を開催し、展示等を通じて啓発を行う。
- ・保護者を対象とした「学校給食試食会」を開催し、「野菜について」等の講話を通じて啓発を行う。

共有基本テーマ「野菜を食べよう」

【保育所】

教育・保育施設等(認可保育所・認定こども園・地域型保育事業所)に向けて食育の推進を図っており、令和7年度は「野菜を食べよう」をテーマに取り組む。

- リーフレット「野菜を食べよう」(仮題)の作成・配付
- 保護者に野菜を食べることの重要性を訴える内容とする。
- 「食育月間」における各施設での取り組みで活用できるように作成・配付する。

【地域子育て支援センター・保育所】

○地域子育て支援センターでは、乳幼児を家庭保育している保護者を対象とした、離乳食や手作りおやつ等の食に関する講座を定期的で開催しています。各講座を計画する際には、大阪市食育推進計画共有テーマ「野菜を食べよう」を組み入れ、1年を通して啓発する。

- ・こども青少年局発行の食育リーフレットや食の情報誌「ぱくぱく」を活用し、共有テーマ『野菜を食べよう』を啓発する。
- ・食に関連する講座で、天然だしの種類・特徴・取り方を紹介し、だしを活用することで野菜のうま味・甘みが引き出されおいしく調理できることを伝える。
- ・1年間を通して、季節に応じた旬の食材を紹介し、毎日の食事に野菜を取り入れることを啓発する。

○保育所では、毎月の給食献立表や食事だより等で食育活動や食事の様子等、食に関連することを保護者にお知らせする。食育活動のひとつとして子どもたちが菜園で育て収穫した野菜を調理し提供することで、子どもたちに野菜を身近に感じてもらい、楽しい食事に繋げる。
また、年4回発行している食の情報誌「ぱくぱく」も「野菜を食べよう」をテーマに沿った内容で作成し、掲示や配付する予定。

<取組み報告>

- ・食の情報誌「ぱくぱく」を作成し発行、各保育所にて掲示
- 年4回発行 50カ所の保育所にて掲示

【農産物PR】

農業イベント、本市HP、プロモーション動画にて市内の農産物のPRを行い、市民に野菜を中心とした食べ物について学んでいただく。

参考:本市HP「大阪市農業サポーターについて」
<https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000484402.html>

参考:本市HP「令和6年度 市内産農水産物のプロモーション動画について」
<https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000632783.html>

共有基本テーマ「バランスよく食べよう」

【生活支援型食事サービス事業】

在宅高齢者等の自立した生活の確保を図るため、関連サービスの利用調整を行いながら、訪問により栄養バランスのとれた食事を配達することで、対象高齢者等の安否確認を行うことを目的とする事業。

令和2年度より、献立作成にあたり、「日本人の食事摂取基準」及び「地域高齢者の健康支援を推進する配食事業の栄養管理に関するガイドライン」に沿ったものとなるように、参考とするべき基準を示した。栄養バランスのとれた食事を提供できるよう引き続き取り組む。

【ハイリスク高齢者への家庭訪問事業】

フレイルリスクが高いと考えられる閉じこもりがちな高齢者を保健師が訪問し、フレイルリスクのひとつである「低栄養」の可能性のある対象者について、要介護状態への移行をできる限り予防することを目的に、生活面や療養上の保健指導を行い、必要に応じて関係機関と連携し支援を実施。

「朝ごはんを食べよう」

【大阪市朝食月間】

大阪市朝食月間 9月1日～30日

夏休み等で夜更かしすることが多く生活リズムが乱れがちな夏が終わる9月を「大阪市朝食月間」とし、朝食を食べる習慣を再認識するよう啓発を行う。

【保育所】

「元気もりもり朝ごはん」の取り組み

「こどもの朝食欠食の減少につながる」ことを目的として、公立保育所の4・5歳児等を対象に、朝食に関する紙芝居を実施する。

また、保護者向けの朝食に関するリーフレットを作成・配付し、啓発を行う。

令和7年度

「よく噛んで食べよう」

【ホームページ、認知症アプリ、福祉局X等による情報発信】

大阪市ホームページ、認知症アプリ、福祉局X等を活用した介護予防・フレイル予防の情報発信の中で、フレイル予防の柱のひとつである低栄養予防の他、かみかみ百歳体操について周知・啓発を実施。

【地域リハビリテーション活動支援事業】

住民主体で開催する口腔機能向上のためのかみかみ百歳体操を実施している通いの場に対し、歯科衛生士等を派遣し、効果的かつ安全な体操方法の助言や口腔機能の測定、セルフチェックの実施、口腔ケアについての指導等を実施。

令和7年度

「よく見て食べよう」

【若い世代を対象とした食品衛生講習会】

高校生、大学生及び専門学校生等、若い世代に対して、食肉はしっかり加熱して食べるよう注意することや、加熱不十分で喫食した場合はカンピロバクター食中毒に罹患するリスクがあることについて周知するため、食品衛生講習会を行う。

令和7年度

「大切に食べよう」

【食品ロスの削減】

手つかずのまま捨てられている食品や食べ残しといった「食品ロス」を削減するため、本市ホームページやイベントにおいて、「フードドライブ」、「生ごみ3きり運動」、「30・10運動」の推進に向けた啓発を引き続き実施する予定。
また、食材やエネルギーを無駄にせず、生ごみを減らすことを、買い物から調理、食事、後片付けまでの一連の流れの中で実践する「調理の工夫で食品ロスを減らす料理教室」を引き続き開催する予定。

【食育イベントの実施】

外食や中食利用者の多くを占める青壮年層に対し、栄養成分表示の活用、栄養バランスの重要性、減塩等についての普及啓発をさらに推進させるため、市内大学のキャンパスや会社の社員食堂、商業施設等に会場提供等協力を得て、啓発用媒体の展示、体験型の食育ゲーム等を取り入れた食育イベントを実施する。

【食育学生ボランティアの養成】

若年層の時期から自らの健康に関心を持ち、これからのライフステージにおいて主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、早期からの正しい食生活・生活習慣形成に対する働きかけが重要である。そこで、管理栄養士養成校において、将来保護者になる世代でもある自身の健康づくりについて再認識し、望ましい食生活・生活習慣に関する講座を実施する。講座受講者にはボランティアに登録してもらい、食育イベント等に従事してもらう。

【ライフステージ別の取組み】

母子保健事業(妊婦教室、離乳食講習会、乳幼児健診、地域ふれあい子育て教室)、食育講座、地域健康講座等において、食育に関心を持ち、実践できるように、意識づくりや正しい知識・情報の普及、実践のための支援を実施する。

【ホームページ等による情報発信】

- ・広報紙や市・各区ホームページ、各区SNS、食育情報発信Facebook「たべやん通信」に食育に関する情報を掲載し、健康・栄養情報の発信を行う。
- ・「食育推進ネットワーク情報誌」を発行し、を発行し、各区食育推進ネットワークを通じて配付を行う。

【介護予防教室】

高齢者が要支援・要介護状態になることをできる限り予防し自立した活動的な生活を送ることができるよう、1地域あたり年間12回のプログラムを実施し、内1回以上は食事・栄養と口腔機能に関する講話や実習等を取り入れたフレイル予防、介護予防に資するプログラムを実施。

【小学校・中学校】

- ・栄養教育推進事業において、児童生徒への食に関する指導の授業を行ったり、配付資料を通じて家庭への啓発を行う。
- ・中学校における食育指導資料「食育つうしん」で基本テーマを取りあげ、生徒への指導を行うとともに、家庭への啓発を行う。
- ・児童生徒に対して、給食の時間に、給食献立と基本テーマを関連付けて指導を行う。
- ・保護者、地域、市民等を対象とした「食育展」を開催し、展示等を通じて啓発を行う。
- ・保護者を対象とした「学校給食試食会」を開催し、基本テーマについての講話を通じて啓発を行う。